

# 2018年 第29回 全国高等学校アマチュア無線コンテストルール

## <重要:ルールの導入について>

高校コンテストへ関心を寄せていただき、心より御礼申し上げます。

ジュニアの活性化という観点から、今回も次の2つのルールを採用いたします。また、新たに SWL 部門を設けました。

- ・国外のアマチュア局を参加可能にします(ただし、JARL コンテスト周波数帯での運用とします)
- ・高校部門マルチオペにおいて、これまでは高校生以下ではない方が1局でも交信を行うと一般部門にエントリーせざるを得ませんでしたが、一定割合に限って、交信を担うことができますようにします。
- ・今回、SWL 部門を新設しました。SWL 部門に参加する場合は、できれば一般社団法人日本アマチュア無線連盟の准員ナンバーを取得して参加してください。

規約を熟読いただき、今年もお誘いあわせの上、ふるってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

## <お願い>

- ・総得点計算方法を確認してください。

6(5)にある通り、マルチおよび得点の計算方法が特殊です。

電信の得点の計上忘れ、高校マルチの足し忘れが目立ちますが、実際の点数よりも、申告した点数が低い場合は、主催者としては直すことができません。せっかく得た得点ですので、しっかりと足していただきたいと思います。

- ・「提出上の注意」を守ってください。

ログ提出の際は、10. 提出上の注意 を熟読の上、よく点検してからお送りください。

不備があって返送し、直していただいているうちに締め切りを過ぎてしまう…というのは、私たちにとっても悲しいことです。

## 1 主催

全国高等学校アマチュア無線連盟(全国高等学校文化連盟アマチュア無線専門部設立準備会)

## 2 日時

2018年7月16日(月・祝) 13:00JST~16:00JST

## 3 周波数及び電波形式

7, 21, 50, 144, 430MHz CW, SSB, AM, FM

※JARL コンテスト使用周波数帯を必ず守ってください。

「7MHz 帯の SSB では 7.060-7.140 となっていますが、7MHz 帯においては LSB 電波を使用しますので、トランシーバの周波数表示(キャリアー表示)では 7.063-7.140 の間で運用しなければいけない……ということになります。(JARL のページより引用)」

※ 長時間のチャンネル占有を避け一般局に妨害を与えないこと

## 4 参加資格

国内・国外のアマチュア局および SWL(アマチュア無線の電波を受信する個人をいう)

## 5 部門とコードナンバー

部門	種目		コードナンバー
高校 (注1)	マルチオペ	シングルバンド	hs-m-7,hs-m-21,hs-m-50,hs-m-144,hs-m-430
		マルチバンド	hs-m-m
	シングルオペ	シングルバンド	hs-s-7,hs-s-21,hs-s-50,hs-s-144,hs-s-430
		マルチバンド	hs-s-m
		SWL	hs-s-swL

一般 (注2)	マルチオペ(注3)	マルチバンド	c-m-m
	シングルオペ	シングルバンド	c-s-7,c-s-21,c-s-50,c-s-144,c-s-430
		マルチバンド	c-s-m
		SWL	c-s-swł

(注1) 高校部門にエントリーできるのは、高校生以下※がその局の交信を行った場合に限りです。ただし、マルチオペにおいて、高校部門にエントリーできないオペレータ(例えば、高校社团局における、卒業生や顧問)がオペレートした場合は、高校生以下による交信局数が全体の80%以上であれば、後述の「10. 提出上の注意」を遵守していただくことを前提に、高校部門へのエントリーができるものとします。

※ここでいう「高校生」は、「高等学校の課程」および、外国の政府等が設置した「高等学校に準ずる学校」に在籍する生徒です。中等教育学校の生徒、専修学校の「高等学校の課程」に在籍する生徒、高等専門学校の1・2・3年生も含まれます。該当学年に在籍していれば、年齢は問いません。

また、若い層の活性化の意味合いを重視し、数年前より「高校部門(マルチ「HS」)に参加可能な者」を、高校生、中学生、小学生(及び小学生以下)に拡大して好評を得ており、本年度もこのルールとします。

(注2) 一般部門には、高校部門にエントリー可能な局以外が参加できます。

(注3) 一般部門マルチオペには、シングルバンド種目はありません。

## 6 交信方法など

### (1) 呼び出し例

電話「CQ 高校コンテスト」 電信「CQ HS TEST」

### (2) コンテストナンバー

RS(T)+都府県支庁番号(海外局の場合は<sup>ゼロゼロ</sup>00)+オペレータを表す記号(高校部門は「HS」、一般部門は「C」)  
例:電話の場合 59 103 C 例:電信の場合 599 11 HS

### (3) 得点

#### (ア) アマチュア局

電話1点、電信3点(一般局同士の交信も有効)

※同一バンドで電話と電信とで重複交信した場合は、電信の得点のみを計上して下さい。

#### (イ) SWL

送信及び受信局のコールサインならびに送信局の送出したコンテストナンバーの受信で  
電話1点、電信3点(一般局同士の交信も有効)

※同一バンドで電話と電信とで重複受信した場合は、電信の得点のみを計上して下さい。

### (4) マルチプ라이어

#### (ア) エリアマルチ

都府県支庁(海外<sup>ゼロゼロ</sup>00も含む)マルチプ라이어の数の和(合計)

#### (イ) HS マルチ

コンテストナンバーに「HS」がある局数の和(合計)

### (5) 総得点の計算

#### (ア) アマチュア局

各バンド毎に、

(交信得点の和(合計)) × {(エリアマルチの和(合計)) + (HS マルチの和(合計))}

以下に、参考例を示します。

コールサイン	内容	Band	Mode	RST	エリア	HS or C	得点	エリアマルチ	HS マルチ
JO1Z**	(高校社团局)	7	SSB	59	11	HS	1	11	HS
JI1T**	(一般個人局)	7	SSB	59	11	C	1		
JO1Y**	(高校社团局)	7	SSB	59	11	HS	1		HS
JS2Y**	(高校社团局)	7	SSB	59	18	HS	1	18	HS
JQ1YCK	(高校特例局)	7	SSB	59	11	HS	0		HS

この後、電信で交信している  
ので、電話の点数を0にする

JS2X**	(一般個人局)	7	CW	599	18	C	3		
JS7X**	(一般個人局)	7	CW	599	02	C	3	2	
JP7X**	(個人局高校生)	7	CW	599	02	HS	3		HS
JQ1YCK	(高校特例局)	7	CW	599	11	HS	3		HS
JQ1YKM/1	(高校特例局)	7	CW	599	16	HS	3	16	HS
計							19	4	7

この場合、7MHz の得点は  $19 \times (4+7) = 19 \times 11 = 209$  点となります。

※JQ1YCKが常置場所から運用している形や、JQ1YKMが群馬に移動している形は、あくまでも本コンテストの得点の計算方法を示すだけの例です。

#### (イ) SWL

各バンド毎に、

(受信得点の和(合計)) × {(エリアマルチの和(合計)) + (HS マルチの和(合計))}

得点計算は上記の参考例(アマチュア局の場合)になりますが、受信局のコールサインも必ず記入して下さい。

## 7 特例局

次の局は本コンテスト活性化の意味で例外とし、オペレータにかかわらず「高校」として扱います。

・主管の局(JQ1YKM)

・神奈川県の特設部の局(JQ1YCK)

## 8 表彰

高校部門 各部門すべて3位まで。4位以下は奨励賞。

一般部門 各部門の参加数5局以内は1位のみ、10局以内は2位まで、それ以上は3位まで。

## 9 提出方法

### (1) 郵送による提出

JARL 制定のログ、サマリーシート(同形式書類可)にて全交信をバンドごとにまとめて提出してください。

到着したかどうかの確認を「郵送」で必要な場合のみ、住所・氏名を記入した返信用ハガキ(1通)を同封してください。

郵送による提出をした場合でも、下記「提出確認Webページ」で確認できます。

(ただし、諸事情によりWebページへの掲載が遅れる場合があります。)

<提出先> 〒082-0051 北海道河西郡芽室町東1条南7丁目5-8 正村琢磨方「高校コンテスト」係

※封筒に「高校コンテスト ログ在中」と朱書きして提出してください。

※返信用切手(82円)同封の場合は、順位表を郵送します。

### (2) 電子ログによる提出

E-mail : koukoucontest あつとまーく gmail. com(半角英数にて)

注 : 次の「10 提出時の注意」を必ず確認の上、提出してください。

## 10 提出時の注意

- ・全交信をバンド毎にまとめて提出してください。
- ・シングルバンド部門とマルチバンド部門の両方への書類提出は不可。
- ・複数のシングルバンドへの書類提出は可。

- ・高校も一般も、マルチオペ部門の場合は、各交信毎に誰の交信か名前をフルネームで記入。  
(個人コール所有者は個人コールでも可)
- ・海外からのログの提出は、電子ログに限ります。

※高校部門にエントリーする場合は、学校名と以下の事項を必ずサマリーシートに記入のこと。

1回でもオペレートした者全員(SWLは受信した者)の「氏名(フルネーム)」・  
「学年」(マルチオペで高校生以下でないオペレーターが含まれる場合は「年齢」)・  
「無線従事者資格」(アマチュア局の場合)・個人コールあるいはJARL 准員ナンバー(あれば)」

(記入忘れが時々見受けられます。顧問の先生や局免の代表者の方は、お手数ですが必ずご確認ください。)

## 11 提出確認

Webページ(<http://hstest.mg-sci.com/>)

- (1) 郵送による提出、(2) 電子ログによる提出のいずれも提出先到着後、基本的に24時間以内に提出された局のコールサインを掲載いたします。24時間を経過しても掲載がない場合、下記へ問い合わせてください。(ただし、諸事情によりWebページへの掲載が遅れる場合があります。不着等、様々なケースが考えられます。掲載のない場合は必ず連絡してください。)

## 12 締切

2018年7月31日(消印有効)、電子ログの場合は8月3日(当日の24:00まで)必着。

※ハムフェアでの表彰を実施するため、締切日を上記のようにしています。ご理解とご協力をお願いいたします。  
※事情により提出が遅れる場合、必ず事前に連絡してください。事情により考慮の対象とします。

## 13 個人情報の取扱い

取得した個人情報は、本コンテスト業務遂行(ログ等の集計・審査・賞状発送・問い合わせ等)のためにのみ利用いたします。

## 14 問い合わせ

書類提出先(郵送の場合、必ず切手を貼った返信用封筒同封)、または、koukoucontest あつとまーく gmail.com(半角英数にて)まで

## 15 その他

過去にあったことで、ご注意いただきたいことを次に記載いたします。

- ・2%以上の重複交信を得点とした場合失格とします。
- ・「締め切り日を過ぎて届いた場合」失格とします。  
ただし、諸事情により提出が遅れる旨の連絡があった場合はその限りではありません。
- ・「郵送で料金不足の状態で最終日の消印で届いた場合」失格とします。
- ・「郵送で料金不足で締め切りまでまだ日数の余裕がある場合」  
主催者側から返送し再提出してもらいます。締め切りまでに間に合えば受付とします。
- ・「社団局なのに氏名欄が個人名の場合」  
主催者側から返送し再提出してもらいます。締め切りまでに間に合えば受付とします。
- ・「宣誓欄が空欄の場合」  
主催者側から返送し再提出してもらいます。締め切りまでに間に合えば受付とします。
- ・「記入してある無線機に疑問を感じた場合」  
主催者側から問い合わせをします。
- ・「コンテストルールの理解不足で点数計算を間違えて多く算出している場合」  
主催者側で再計算し、減点して正しい点に修正してエントリーとします。

- ・「コンテストルール理解不足で点数計算を間違えて少なく算出している場合」  
そのままの点数としてエントリーします。
- ・「実際にはシングルバンドしか出ていないのに、マルチバンドにエントリーしている場合」  
実態に合わせるという観点から、主催者側でエントリーをシングルバンドに変更します。
- ・「実際にはシングルオペで出ているのに、マルチオペにエントリーしている場合」  
実態に合わせるという観点から、主催者側でエントリーをシングルオペに変更します。  
（「CQを出したが誰からもとってもらえなかった人がいる。」とか「相手局を呼んだが一度も交信できなかった人がいる。」というのはオペになりません。  
上記「提出時の注意」にもありますが、マルチオペ部門への提出には、各交信ごとにオペレータ名を記入していただくことになっています。  
マルチオペにエントリーする場合は、必ず複数人でオペをしたことがわかるように明記してください。）
- ・「ひとつの局がマルチバンドで参加し、シングルバンド部門とマルチバンド部門の両方へ書類を提出している場合」  
このままでは失格です。主催者側から返送し再提出してもらいます。締め切りまでに間に合えば受付とします。
- ・「ひとつの局がマルチバンドに参加し、マルチバンドへは書類を提出せず、複数のシングルバンドにのみ書類を提出している場合」  
問題ありません。そのまま受付します。
- ・これ以外の検討事項はJARLコンテスト規約に準じ、主催者側で検討します。